

# 感染症トピックス

## RSウイルス感染症の報告数が増加しています！

### ■ RSウイルス感染症とは？

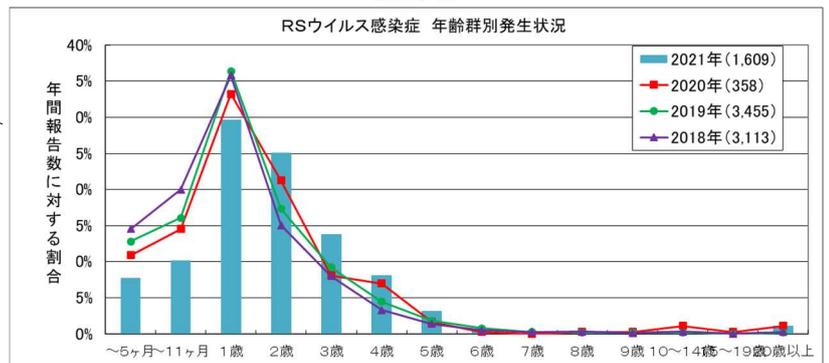
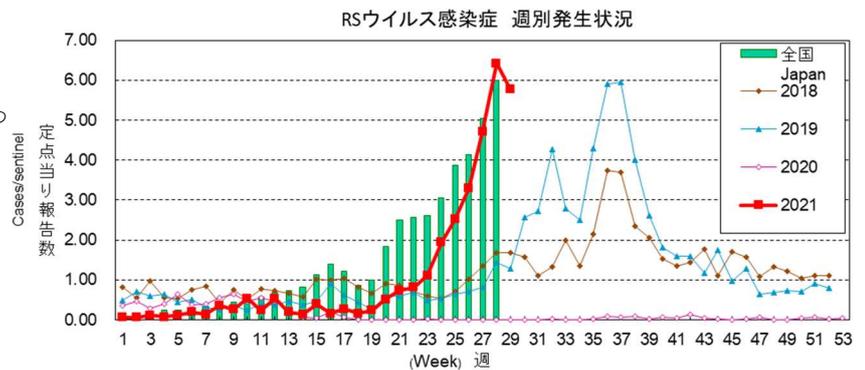
RSウイルス感染症は、RSウイルスを病原体とする乳児に多く認められる急性呼吸器感染症です。潜伏期は2～8日で、生後1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の人が少なくとも1度は感染するとされています。初感染の場合、発熱、鼻汁などの上気道症状が出現します。

感染経路は、患者のくしゃみなどによる飛沫感染とウイルスの付着した手指や物品等を介した接触感染が主なものです。

### ■ 福島県内の発生状況

2021年第29週（7月19日～25日）現在、県内の小児科定点（50機関）からの患者報告数は289人（1定点当りの患者報告数は5.78人）と急増しており県内全域で流行が続いています。

2021年第1～29週の年齢群別発生状況は、例年と比較して0歳が占める割合が大きく減少し、2歳、3歳、4歳以上の報告数の割合が増加しています。



### ■ 予防方法

家族内に乳幼児や基礎疾患を有する高齢者がいる場合、罹患により重症となる可能性があるため、適切な感染予防対策が重要です。

飛沫感染対策としてマスク着用や咳エチケット、接触感染として手洗いや手指衛生といった基本的な対策を徹底することが必要です。